

平成29年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>				担当者	飯塚俊樹
	全体計画		経費区分	-	内線	3118
事務事業名	9879 災害復旧支援事業					
所 属	050100 総務部・総務課					
施 策	03021300 防災体制の充実					
予算 科目	会計	01 一般会計				
	科目	020101 総務費・総務管理費・一般管理費				
	事業	080000 災害復旧支援事業				
事業目的			事業概要・効果			
災害復旧・復興するために助け合うことで、被災地に 勇気とやる気を与える。			東日本大震災は、広範囲に甚大な被害を与えた。 災害復旧には長期間を要するため現地における災害復 旧支援のため、義援物資等に係る経費を計上。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
塩竈市への職員派遣 ・事務職1名（1年間） 義援物資の発送 塩竈市の仮設住宅が継続されていれば発送予定。	①塩竈市への職員派遣 ・事務職1名（1年間） ②義援物資の発送（塩竈市ヘリンゴ）
平成29年度 予定	平成30年度 予定
①義援物資の購入・発送 ②被災地復旧視察訪問	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	通年で1名の中長期職員派遣				
算式	職員派遣数				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	1	0		
	実績	1	0		
指標選定の理由	職員派遣により被災地の復興に寄与しているため				
最終年度 目標の根拠	通年で1名の中長期職員派遣				
指標名	義援物資の発送				
算式	義援物資の購入金額				単位 円
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	200	200		
	実績	140			
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		694	346
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		694	346
人員数 (人)	正規職員	0.1	0.0
	嘱託職員	0.1	0.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	721.9	0.0
	嘱託職員	275.5	275.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	997.4	275.5
市民一人当たりの経費		0.0	0.0
総額		1,691.4	621.5

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	140	義援物資
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	554	災害派遣職員旅費、義援物資運搬費

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	200	義援物資
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	146	義援物資運搬費、被災地復旧視察訪問

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	被災地に元氣、勇氣、やる気を起こさせる一助となる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	精神的面で有効性がある。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	被災地との関係性を考慮しつつ、継続的な事業であるか検討していく。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

義援物資は、長期間仮設住宅に居住している住民のためには、特に精神的な面で有効と考えます。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	統合・終了	次年度以降の方向性	進め方の改善（縮小）
総合評価コメント		2次評価コメント	
東日本大震災による職員派遣を終了したことから、義援物資の発送についても終了の検討が必要である。		義援物資は、未だ仮設住宅に住まわれている方がいる状況の中で、災害応援協定を結んでいる塩釜市へ発送を継続する。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	